

多数の学生が教員採用試験に現役で合格しました。採用試験の結果について1頁に掲載しています。宮崎国際大学教育学部では学生の学力向上のために教科・教職自主ゼミを設けています。学生の多くが自主ゼミに参加しています。今号では「理数科教育ゼミ」について紹介します。2頁、3頁をご覧ください。



宮崎国際大学大学案内2021に掲載された写真

## 宮崎国際大学教育学部ニュースレター

### 今年も教員採用試験に現役生が頑張ってくれました！

副学長・教育学部長 福田 亘博



今年度は新型コロナウイルスの感染拡大により、通常の大学の行事や授業は、新学期に入り、入学式の中止や新入生に対するオリエンテーションの短縮、その後の休講措置と異例づくめでした。大学では宮崎県内の新型コロナウイルスの感染状況が「宮崎県新型コロナウイルス特設サイト」に逐次公表されているので、これを参考にしながら、Zoomによるオンライン授業（4月20日～5月29日）とさらに感染状況（ステージ1～4の段階）を参考にオンラインと対面授業のハイブリットあるいは対面授業（6月1日～8月7日）を実施しました。後期からは全て対面授業となっています。一方、本学部では教員採用試験対策講座（教採対策講座）・特別対策宿舎や教科・教職ゼミ等（オプション教育プログラム）は1年後期から実施していますが、今年度は、特に学内外の講師による教採対策講座は4月に入り、新型コロナウイルスの影響に最大限の配慮（168名収容の大教室で3つの密を回避しながら、15～16名の受講生がソーシャルディスタンスを確保）し、月～金の間対面授業で実施しました（教職教養・教科、模擬授業、個人面接、英会話など）。模擬授業などの実践科目や個人面接等は、対面授業の方がオンラインに比べ圧倒的に学生の練習になることは言うまでもありません。また、教員採用試験一次合格発表後、二次試験は8月21日以降に予定されていましたが、新型コロナウイルスの県内における感染拡大をうけ、二次試験の集団討論の中止と1ヶ月間延期（9月20日以降に実施）となりました。この1ヶ月延期の間も学外講師による対策講座を実施しました。学生は次から次に異例の強いストレス状況下にさらされましたが、よく耐えて現役合格に向けて猛勉強してくれました。

さて、このような新型コロナウイルスによる混乱の中、一次試験及び二次試験結果は、すでに本学ホームページ等で公表していますが、最終的に11名が合格しました（合格

者数11名／二次試験受験者数16名＝68.8%の合格率）。また、卒業生では1名が合格しました。このように、今年も例年並みに高い教員採用試験現役合格率を達成しました。さらに、今年度より、公務員試験対策のために、SPI対策講座を市内の公務員専門学校とタイアップして開始しました。その結果、宮崎市及び都城市公務員試験に現役学生3名（一般行政職1名、幼保職2名）が合格し、卒業生1名が宮崎市幼保職に合格しました。まさに快挙です。本当に喜ばしいことです。

このような教員採用試験や公務員試験に対する4年生の頑張りには教育学部の伝統となりつつあります。例えば、4年生が3年生以下の学生に「どのような勉強をすれば教員・公務員に現役合格できるか」等の説明会を開催しました。今では、スプーンや学生教職支援センターで勉強する学生の姿が散見されます。また、昨年度より、上級生による1、2年生対象の基礎学力（特に、理数科）強化ゼミを企画・運営していますが、今年度は確実に定着したようです。このように本学では、高い教員採用試験現役合格率を維持し、さらに教員・保育者として「絶えず学び続け、自らの資質・能力を高める」体制が整備されました。

今後とも本学が掲げる「礼節と勤労」の教育理念のもと、学生諸君の教員や公務員になりたいという希望が確実に達成できるように、教職員が一丸となって支援していきたいと思えます。

#### 目次

今年も教員採用試験に現役生が頑張ってくれました	1
特別対策講座での新規採用教員からのメッセージ	2
理数科教育ゼミについて	2,3
教員採用試験に合格した4年生からのメッセージ	3
教育学部教員より	3
共に学び合う「保育者養成実践講座」	4
入試広報部からのお知らせ	4

宮崎県小学校	教育学部 現役学生 17名受験 11名合格
	教育学部 平成29年3月卒業生 1名合格
鹿児島県中学校[英語]	国際教養学部 令和2年3月卒業生 1名合格
宮崎市公務員試験	教育学部 現役学生 2名合格（一般行政職1名、保育士・幼稚園教諭1名）
	教育学部 令和2年3月卒業生 1名合格（保育士・幼稚園教諭1名）
都城市公務員試験	教育学部 現役学生 1名合格（保育士・幼稚園教諭1名）

## 特別対策講座での新規採用教員からのメッセージ

### 小学校の現状と後輩に期待すること

宮崎市立檉北小学校教諭 畑中 心生  
(平成31年3月宮崎国際大学教育学部卒業)



私は現在、檉北小学校で5年生の担任をしています。現場に出てから改めて学生時代を振り返ると、「もっと大学でやっておけばよかった」と感じるものが三つあります。

第1は、「子どもたちが楽しいと思える授業を考えること」です。現場に出てから気付いたことは、子どもたちの興味・関心を高め、いかに授業に引き込むかということが大事だということです。そのために、現在、日常生活と関係づけた導入を考えたり、子どもの間違いをきっかけにしてそこから理解を深めていったりするなど、よく分かる楽しい授業づくりに奮闘しています。

第2は、読書です。私は今、教育書だけでなく児童図書や絵本も含めた幅広い読書に心がけています。「教員は世間を知らないから」という言葉をよく耳にします。だからこそ様々なジャンルにわたって知識を得ておく必要があるし、読書で得た知識や内容を授業や生徒指導で生かすことができたこともありました。また、子どもたちと一緒に読書をする時間をとると、本に興味を示す子どもが増えるという変化も見られました。

第3は、さまざまな経験をするということです。教師は子どもたちに様々な経験を話す機会があります。それは、教師の成功した経験ばかりではなく、失敗してそこから学んだこともあります。子どもたちが失敗したり悩んだりしていた時に、それらの経験を子どもに伝え、一緒に考えていくことが教師の役目の一つだと思っています。

大学4年間の学びは本当に貴重です。多くの知識と経験を重ね、それらを子どもたちの成長に生かすことができるように今を充実させてほしいと思います。いつか現場で会える日を楽しみにしています。

### 学べることや時間、仲間を大切に

幼保連携型認定こども園 宮崎学園短期大学附属  
清武みどり幼稚園保育教諭 百市 日奈子  
(平成31年3月宮崎国際大学教育学部卒業)



皆さんは将来、どんな保育教諭になりたいですか？

私は大学3年時の実習を経て、子ども一人一人の成長を温かく見守る保育教諭になろう！と心に決めました。しかし、実際に保育教諭として日々の保育に携わる中で、自分の理想とする保育士像とは隔たりがあり、葛藤したり悩んだりする場面も多々ありました。

そんな時、大学生生活で得た知識や保育・幼稚園実習で培った実践経験が自身の保育の軸となり、困った時の私の支えとなっていることを日々実感しています。保育に対する知識や保育観を深められる大学の講義、そして、実践を積む実習がとても貴重だと感じています。皆さんも大学4年間という限られた時間の中で、様々な学びを得られるとよいですね。

保育教諭は、子どもの笑顔に包まれて子どもの成長を身近に感じられる、とてもやりがいのある素晴らしい仕事です。ぜひ実り多き大学生活を過ごし、自分自身が抱く理想の保育教諭になれるよう頑張ってください。

### 理数科教育ゼミについて

教育学部講師 坂倉 真衣(理科教育)



現在、理数科教育ゼミでは、4年生を対象とした「模擬授業ゼミ」、1~3年生を対象とした「基礎ゼミ」を行っています。

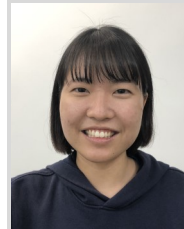
模擬授業ゼミでは、理数科の指導内容を正確に理解し実践力を高めることを目指し、模擬授業の実施と検討を行っています。基礎ゼミでは、中学から高校基礎までの理科、算数の基本的な知識、考え方を復習し、小学校教員、保育士・幼稚園教員として必要な指導力の基盤となる力を身に付けていきます。基礎ゼミは昨年度から学生が運営しており、今年度前期は、教育学部3年生の平原桃花さん他5名が学生アシスタントとして運営を担当しました。学生が運営をすることで、学生同士での「学び合い」「教え合い」の場にもなっているようです。

教育学部学生のほとんどは高校時代に文系に所属し、理数科目を苦手とする学生が多いです。しかし、小学校では5教科に加え、音楽、図画工作、体育等、基本的には全ての教科を担当が指導する必要があります。

将来教員を目指す上で、理数科が苦手な学生はそれを克服できるように、得意な学生は自分が分かるだけでなく、人に分かりやすく解説できることまでを目標にして頑張してほしいと思います。

### 理数科教育基礎ゼミで学んだこと

教育学部3年 知花 幸佳  
(沖縄県立嘉手納高等学校出身)



私は、小学校教員を目指しているのですが、学力面に不安があったので、理数科教育基礎ゼミに参加しました。

基礎ゼミでは、主に担当の学生アシスタントが教えてくれますが、自然に学生同士での教え合い活動が生まれ理解を深めることができました。私は、問題が解けたと満足して終わることが多々ありましたが、ゼミでの学習を通して、どのように考えたのかを意識して伝えるようになりました。また、一番努力した理科の学習では、基礎的な知識が十分ではなかったのですが、まずは『自由自在』の問題集を何度も繰り返し解いていきました。そして、今では応用問題も解けるようになりました。

将来、小学校教員になるために、これからも理数科教育ゼミで算数・理科の基本的な知識や考え方はじめ、指導する力も確実に身に付けていきたいと思っています。



教員採用試験に合格した4年生4名に2年生2名がインタビューしました。今回はコロナウイルスの影響で例年より1か月遅れて二次試験がありました。会場はコロナ対策が万全で、緊張した雰囲気の中でも自信をもって臨むことができたそうです。対策講座で先生方から色々なアドバイスをもらい、たくさん勉強したことが自信に繋がっていたようです。

### 合格した時の気持ち

みんなが口をそろえて言っていたことは、「嬉しかった」ということです。自分の受験番号を見つけるとすぐに家族へ連絡をして喜びを共有したそうです。受験に臨む際に関わってくださった先生方や家族、学友への感謝の気持ちでいっぱいだったと話してくれました。

今年から導入された大学推薦で一次試験が免除された4年生3名は「一般受験の人とのモチベーションの差を感じ、プレッシャーに負けてしまいそうだった。合格できた時はとっても嬉しかったと同時に安心することができた。」とのことでした。

### 学習法

4年生は下記のような学習法を行っていたそうです。

- ・小グループで勉強し、問題を出し合う
- ・模擬授業を見せ合ってお互いに改善点を話し合う
- ・自分だけの問題集をつくる
- ・シール、スタンプ、付箋などを活用する

これ以外にもそれぞれ自分に合った方法を見つけ、勉強を頑張っていたそうです。

### 試験を乗り切る、自分だけの楽しみ

合格するために、不安を抱えながらひたすら勉強し続ける1年間。そんな期間を乗り越え、試験後に笑顔になれるよう、4年生は以下のような自分だけの楽しみを作っていました。

たようです。

- ・「試験が終わったらやりたいことリスト」をつくる  
(例) 旅行に行く、ライブDVDを見る
- ・友達と話す
- ・アプリで一日に勉強した時間を計って、励みにする

### 後輩にメッセージ

#### 頼れる人を見つけよう

これは、全員がうなずきあっていた言葉です。先生、先輩、友人、後輩など、いろいろな人の力を借りることが合格するポイント。後輩の「頑張ってください!」という言葉も励ましになったそうです。また、これらの頼れる人を早い段階から見つけておくことも大切だと教えてくれました。

多くの人のおかげで頑張ることができた4年生だからこそ、このメッセージを後輩に伝えたいのだと思います。

#### みんな頑張れ!

最後に励ましの言葉をもらいました。



後列左から教育学部2年 田中美帆(宮崎東高校出身)、4年 園田惇之介(都城泉ヶ丘高校出身)、2年 前田桃葉(宮崎南高校出身)、前列左から4年 小川鈴夏(延岡星雲高校出身)、黒木美帆(日向高校出身)、福元美鈴(小林高校出身)

## 理数科教育基礎ゼミの運営を担当して

教育学部3年 平原 桃花  
(宮崎県立宮崎南高等学校出身)

今年度3年生アシスタント5名で理数科教育基礎ゼミを3クラスに分けて運営してきました。私は、その中で理数科目を得意と感じている学生のクラスを担当しました。そのため、自分が解けることに加えて他の人に分かりやすく解説ができるというところまでを目標としていました。受講生の緊張をほぐし、解説にチャレンジしてくれるように、まずは私が分かりやすい解説を考えたりゼミの発表しやすい雰囲気づくりに努めたりしました。

ゼミの運営を担当したことで、教えることの難しさを経験しました。分かりやすい資料の作成方法を学び、受講生が学習しやすい環境づくりについても配慮するようになりました。この経験で学んだことを小学校での学級経営や授業づくりに生かしていきたいです。



理数科教育基礎ゼミの様子(右端が平原さん)

## 教育学部教員より

「未来を拓く学生」の育成を目指して

教育学部教授 白石 知子



6月から教育学部に入りました。「学生教職支援センター」に籍を置き、教員及び保育士を目指す学生の支援・指導をしています。

今、学生の多くは何事にも真摯な態度を見せています。その原動力になっているのが卒業生や4年生の後ろ姿です。「先輩に続け、後輩に頑張る姿を見てもらいたい。」そんな思いを行動に表す学生たちには、これからの社会を安心して託すことができるような気がします。目標に向かって、自分を磨く学生たちのために「学びの環境」をより工夫していきたいです。また、学びの場は人間形成にもつながります。「礼に始まり、礼に終わる」姿が見られ、コミュニケーションを大切に「学び舎づくり」に尽力していきたいです。

(担当科目: 家庭、家庭科教育法)

## 幼保コース1～4年生が共に学び合う「保育者養成実践講座」

### 模擬保育について

教育学部講師 城戸 佐智子



保育者養成実践講座の一番の目的は「実践力を身に付けること」です。保育内容や保育方法を体験的に学ぶため、模擬保育を実施しています。学生自身が保育者役と子ども役を体験するため、それぞれの視点から保育をみることができ、活動に必要な準備や声掛けなどの保育者の配慮を具体的に学ぶことができます。

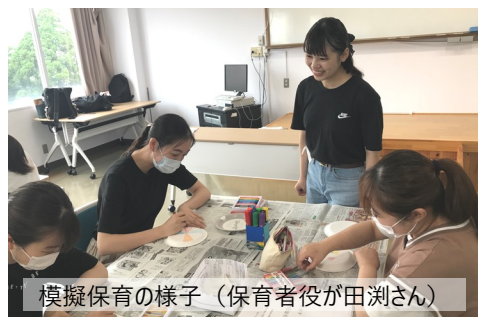
保育指導案立案の際には教員や4年生が個別に指導し、指導案作成における基本的な知識の定着を図ります。4年生には、後輩を指導する力の育成も期待しています。指導案立案後、事前研究では、立案者による指導案の説明、質疑応答などを行い、より子どもの発達に合った保育を検討します。模擬保育の実践では、子どもの動きを見ながらの対応を学びます。事後研究では自分の保育を振り返り、保育者として新たな課題を見出していきます。

幼保コース1～4年生が、学年を越えてそれぞれの経験や立場から意見交換をすることで、自分の保育を客観的にみることができる良い機会となっています。細やかな指導ができる小規模大学ならではの取り組みです。

### 保育者養成実践講座での学び

教育学部4年 田淵 稚菜  
(宮崎県立宮崎北高等学校出身)

私は保育者養成実践講座で、学年を越えた縦の繋がりができました。そして、様々な視点から意見交換をすることで互いの保育技術を高め合うことができたと考えています。



模擬保育の様子（保育者役が田淵さん）

後輩の模擬保育を見る機会はいまだになかったため、3年生の模擬保育が特に印象に残りました。堂々と保育活動を展開する姿や斬新で面白い発想、保育者の援助や配慮が細かく記載された指導案などから新たな学びがあり、大変勉強になりました。同時に、後輩の頑張っている姿から自分も負けていけないと思い、保育技術をさらに高めたいという気持ちが強くなりました。

子ども一人一人に応じて配慮や援助を工夫できる保育者を目指し、後期も保育者養成実践講座を積極的に受講していきたいです。

## 入試広報部からのお知らせ

お問合せ先 TEL 0120-85-5931  
MAIL admissions@sky.miyazaki-mic.ac.jp

## LINE相談受付中

「入試制度について知りたい」など、見学会に行くことが出来ない、という高校生・保護者の方のために、公式LINEアカウントのチャット機能をオープンしています。お気軽にお問合せください。



QRコードを読み込んでお友達追加！



## 週末キャンパス見学会＆相談会

ウェブサイトはこちらから ↓

### CONTENTS

10：00～12：00

- ◆学部説明
- ◆受験対策講座（任意）  
国際教養：英語面接対策  
教育：小論文対策
- ◆入試相談（任意）

大学について知りたい！オープンキャンパスまで待てない！という方のための週末見学会（要予約）です。  
詳細は本学HPで！ ※予約状況によって人数を制限する場合があります。

第5回

12/12



第6回

1/23



第7回

2/20



第8回

3/13



YouTube



宮崎国際大学

〒899-1905 宮崎県宮崎市清武町加納丙1405番地

電話：0985-85-5931

FAX：0985-84-3396

ホームページ：http://www.mic.ac.jp

国際教養学部 比較文化学科  
教育学部 児童教育学科



宮崎国際大学